

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年5月29日 (2008.5.29)

【公開番号】特開2002-177465(P2002-177465A)
 【公開日】平成14年6月25日 (2002.6.25)
 【出願番号】特願2000-382366(P2000-382366)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 E

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】
 【提出日】平成20年4月11日 (2008.4.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示状態が変化可能な可変表示部を備える可変表示装置を有し、1 ゲームに対して賭数の設定を行い、前記可変表示部の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記可変表示部の表示結果が所定の表示態様となった場合に所定の入賞が発生可能となるスロットマシンであって、

前記スロットマシンは、

遊技者にとって有利な遊技状態である特別遊技状態と、前記特別遊技状態の終了に関連して発生可能で、前記特別遊技状態とは異なる遊技状態であって、遊技者にとって有利な特定遊技状態とを備え、該特定遊技状態の終了条件として、所定ゲーム回数の消化を少なくとも含み、前記特別遊技状態に移行する契機となる前記可変表示部の表示態様が複数あり、

前記所定ゲーム回数は、前記特別遊技状態に移行する契機となる各表示態様に対応して予め設定されていることを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】 前記スロットマシンは、少なくとも複数種類の小役入賞の発生を許容するか否かを前記可変表示部の表示結果が導出される前に決定する事前決定手段を含み、前記特定遊技状態は、少なくとも一部の小役について入賞の発生が許容された旨を遊技者に報知することが可能な小役報知遊技状態であることを特徴とする請求項 1 のスロットマシン。

【請求項 3】 前記スロットマシンは、少なくとも、前回のゲームで設定された賭数を引き継いで遊技を行うことが可能な再ゲームの発生を許容するか否かを前記可変表示部の表示結果が導出される前に決定する事前決定手段を含み、前記特定遊技状態は、前記再ゲームの発生を許容する旨の決定確率が向上する再ゲーム確率向上遊技状態であることを特徴とする請求項 1 のスロットマシン。

【請求項 4】 前記特別遊技状態に移行する契機となる表示態様には、前記特定遊技状態を発生させない表示態様を含むことを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 のスロットマシン。

【請求項 5】 前記スロットマシンは、前記所定ゲーム回数を前記可変表示部の表示結果が導出される前に事前決定することを特徴とする請求項 1 ～請求項 4 のスロットマシン。

ン。

【請求項 6】 前記スロットマシンは、前記可変表示部の表示態様を制御する可変表示制御手段を含み、該可変表示制御手段は、前記決定された所定ゲーム回数に対応した前記可変表示部の表示態様を導出表示させることを特徴とする請求項 5 のスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

請求項 4 のスロットマシンは、請求項 1 ~ 請求項 3 のスロットマシンに加えて、特別遊技状態に移行する契機となる表示態様には、前記特定遊技状態を発生させない表示態様を含むことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

請求項 4 の発明によれば、請求項 1 ~ 請求項 3 の発明の効果に加えて、特別遊技状態に移行する契機となる表示態様には、前記特定遊技状態を発生させない表示態様を含むので、特別遊技状態に関連して必ずしも特定遊技状態が発生するわけではないため、遊技者は、特別遊技状態に関連する遊技状態に多様性が生じて遊技の興趣が向上する。